まちの話題

★ねんりんピック徳島2003で市内在住の吉村さん所属のチームが優勝

去る10月18日～20日に徳島県で行われた第16回全国健康福祉祭徳島大会（ねんりんピック徳島2003）テニス交流大会で、吉村正さん（東平山在住・写真右）が所属する東京都Bチームが優勝されました。今後、一層のご活躍を期待します。

★「新選組フェスタin日野」開幕～入場1番乗りは千葉の小山さん

1月10日のオープニングに1番乗りしたのは、新選組の熱烈ファンと言う小山八郎さん。新選組ゆかりの各地を訪ねているそうです。当日はお住まいの松戸市を午前6時に出て、会場には9時に到着したとのこと。午前10時の入場開始とともに笑顔で会場に入られました。

★新選組ラッピングモノレール車両がお目見え

大河ドラマ「新選組！」放映に合わせ、多摩都市モノレールでは、車体にドラマの出演者の写真や、「新選組のふるさと多摩」といった文字が描かれた車両が走っています。モノレールご利用の際は、ぜひご覧ください。

新選組を語る⑥

土方歳三と石田散薬

日野周辺での土方姓は、石田、新井、三沢、高幡、国立市、府中市四谷など、多摩川、浅川に近い部分に分布している。

このうち、どこの土方姓の家が古いのか明らかではないが、三沢の土方家に残っていた戦国時代の北条氏照の文書（「土方家文書」高幡山金剛寺蔵）が現存する一番古い史料である。その他にどこの家が土方家の本流か、特定する史料は残されていない。

歳三の生家、石田村の土方家も同様で、歳三より七、八代前までは記録に残されているが、それより以前は不明である。

▶石田散薬張り札（土方歳三資料館蔵）

この土方家は石田村で一番の旧家であることはもちろんだが、いつのころからか、村内の人には「大尽（だいじん）」、近隣の村人からは「石田の大尽」と呼ばれていた。

宝永ころ（一七〇四～一七一一）、土方家は「石田散薬」という、多摩川の深淵に住む河童明神から製法を伝授されたと伝えられる、打ち身、くじきの特効薬を製造販売していた。

この薬の製法は、土用の丑の日に多摩川、浅川または近くを流れる水辺に生える牛革草（ミゾソバ）を採集し、これを陰干しにして乾燥、貯蔵しておき、必要に応じて一定量を鉄の焙烙（ほうろく）で黒焼きにし、少し酒をまぶして一晩おき、翌日薬研で粉末にしたもので、一定の分量を一包みとしていた。

この草の採集は、村中の人たち（もっとも14軒ほどの村だが）にお願いしたという。

薬の焼き加減が非常に難しいということなので、先代の土方康氏に、しつこくこれを聞いてみたところ、「焙烙の底に細かい粉状になった薬が集まり、火がつくことがある。そんな時は、あらかじめ茶碗についでおいた酒で霧を吹いて消す」などと話してくれたが、火加減などを質問すると、あとは「一子相伝」と答えるのみ。また、「この散薬は酒にて用うべし」とあるが、「酒で薬を飲めば、体がホカホカ温まり、くじいた痛みも忘れてしまうのではないか」と笑い飛ばされてしまった。

康氏の祖父策助は、薬作りに一升瓶を持って「薬屋」（製造小屋）に入り、薬の出来上がるころには一升瓶が空になっていたという。策助の死後、祖母が薬を作るようになってからは、酒は一合しかいらなくなったという。生来良き酒徒だった康氏が薬を作るようになってからも、酒は一升必要だったのかも知れない。

数年前、「日野の歴史と民俗の会」で、石田散薬の復元を試みたことがあった。康氏の言葉通り、焼き加減が難しく、強い火で焼くと全体が木炭を粉にしたようになり、現在土方歳三資料館に残る、少し草の成分の青さや茶色の残った粉にならない。粉に火がつくかつかない程度の温度の火で、一定の時間を焼き、あとは康氏の言うように発火しないように酒をまぶして一晩おくのが石田散薬の秘伝らしい。

この石田散薬も、昭和23年旧薬事法が改正されたおり、審査を受けたところ、毒にも薬にもならないからと却下され、以後製造していない。

（日野市文化財保護審議会委員・谷春雄）

日野の歴史と民俗 73

会員募集

先着順で掲載します。２度目以降の掲載は前回掲載日の３カ月後から受け付けます。

★ハーモニーふれあいコンサート　３月13日㈯午後２時30分から／勤労・青年会館／オカリナ吹き・いがらしたかのと仲間達、チェロ・久木田薫／80人／１千円（手作りケーキ・飲み物付き）／ハーモニー（朝比奈☎583－7357）

★行進曲愛好会例会　３月21日㈰午後１時～４時／中央公民館／ベルリン国際軍楽祭1995ビデオとマーチＣＤの鑑賞／500円／水越（☎581－0162）

★多摩メトロポリタン音楽祭　３月21日㈰午後１時30分～７時30分／七生公会堂／独唱、独奏、バレエ、合唱／多摩音楽愛好家協会（☎593－2561）

★日野市民合唱団～庄内の子らとうたう　３月27日㈯午後６時から／市民会館小ホール／出演・上郷児童合唱団「どりいむ」、帝京大学混声合唱部コールソサエティ、日野市民合唱団／金井（☎583－1618）

バザー・フリーマーケット

★ＮＰＯ法人共働事業所あいあむフリーマーケット参加者募集　３月６日㈯午前10時～午後３時※雨天の場合は７日㈰／日野中央公園／青空コンサート出演者募集中／１千800円と賛同支援金／あいあむ２号店（☎586－8434）

★フリーマーケット出店者募集　３月14日㈰、４月11日㈰午前９時～午後３時／高幡不動尊境内／２千円／リサイクル運動友の会（☎579－4003）

★日野手品教室　毎月第２水曜日午後１時～２時30分（Ａ組）、午後３時～４時30分（Ｂ組）のどちらか※毎月第４水曜日午後１時～４時30分は自習相互学習日／勤労・青年会館など／入会金１千円、月１千500円／藤原（☎581－2795）

★いにしえ体操会　毎週水曜日午前９時～10時45分／ひの社会教育センターなど／中高年女性向けストレッチ体操、フォークダンス／年６千円（保険料含む）／葛野（☎581－4047）

★桜会　毎月第３木曜日午後１時から／中央公民館など／年７～８回の桜講座、４月は近郊の桜の古木を訪ねるツアー／入会金１千円、６カ月３千500円／山口（☎592－8047）

★幼児サークルひよこの会　週１回午前／東部会館など／リズム遊び、製作、英語遊びほか／１歳～３歳対象／月３千円／塚本（☎586－3780）

★ふれあい中国語会話サークル　月４回※日時・会場は応相談／初心者～上級者対象／１回２千円／江月（こうづき）（☎090－5316－6857）

★女声合唱団「南十字星」　月３回月曜日午後１時30分～３時30分／日野高幡キリスト教会など／懐かしい曲を練習。老健施設などへの慰問あり※見学可。指導あり／月３千円／芦田（☎592－6745）

★絵手紙サークル「かかし」　毎月第２～第４木曜日午後１時～４時30分／市民会館会議室など／10人／月２千円、会場使用料年２千円、雑費年１千200円※指導あり／田中（☎584－5414）

★社交ダンス「ル・レーブ」　月３回木曜日午後１時から／中央公民館など／多少踊れる方対象※指導あり／入会金１千円、月３千円／岡田（☎583－7983）

★童謡・唱歌「こまくさ」　毎週水曜日午前10時30分～11時30分／湯沢福祉センターなど／入会金１千円、月２千500円※見学歓迎／本田（☎592－9970）

★日本の歌合唱団　毎週金曜日午後７時～９時／東光寺小など／初心者歓迎／月１千250円／原田（☎583－0319）

★旭が丘女声合唱団　毎週水曜日午後１時30分～４時30分／勤労・青年会館など／月４千円※見学歓迎／宇賀神（☎584－3126）

★社交ダンス「ザ・フット＆ホップの会」　毎週火曜日午後７時～９時（経験不問）、毎週金曜日午後２時30分～４時（多少の経験者対象。男性歓迎）／和田中クラブハウス（多摩市）など／入会金２千円、月３千円※指導あり／鈴木（☎581－1658午後８時以降）

★ソフトエアロ＆ヒップホップダンスサークル　毎週木曜日午後７時～８時30分／生活・保健センターなど／月２千500円／渡辺（☎090－2236－1916）

★日野空手同好会　毎週日曜日午後３時～５時／高幡不動尊／伝統空手を基本とした運動不足・ストレス解消のためのグローブ空手／小３以上対象／10人／佐藤（☎591－2720）

★日野市合気道連盟　毎週月曜・木曜・土曜日午後７時～８時30分（一般）、毎週木曜・土曜日午後５時30分～６時30分（子ども）／明翔館道場（下田）※見学自由／齊藤（☎583－7635）